

<対馬地区漁業士会 対馬やまねこ空港フェアを開催>

本フェアは、主に島外からの観光客に対して、対馬の農林水産物等を試食してもらい、ご贈答、お土産品として購入して頂くことを目的に、対馬やまねこ空港において令和2年から開催しております。今年も岡山県からのチャーター便運航に合わせた、11月18日からの3日間、対馬空港ターミナルビル株式会社の協力のもと、対馬地区漁業士会と対馬地区青年農業者連絡協議会の共催により開催しました。

出発ロビー奥の空港直売店の前に、特設販売ブースと試食コーナーを設け、農林水産物・加工品48品目を出品しました。

農林業者からは、有名な対州そば生めん、乾燥や生のしいたけ、対馬蜂蜜、かすまきやブルーベリージャムが、水産業者からは、高級品のアカムツやアマダイの開き、アナゴ甘露煮、マグロモツ味噌煮、ケンサキイカー夜干し、イスズミやアイゴのおつまみ製品、常温レトルトパックの対馬あなごまぜごはんの素等が出品されました。

また、フェアでは、対馬ケーブルテレビから犬束徳弘会長が取材を受け、対馬地区漁業士会の活動としてオンエアされました。

三日間とも晴天に恵まれて、販売は順調でした。とりわけ、チャーター便の出発日の売上が伸び、3日間で約50万円以上となりました。

売上もさることながら、今回のフェアを通して、水産加工に従事していない漁業士が販売に協力する等、加工事業に対する興味が高まったことが大きな収穫となりました。

対馬における新しい特産品が創出されることに期待して、来年もフェアを開催したいと思います。



空港フェア入口



空港フェア会場



農林業コーナー



水産業コーナー



対馬ケーブルの取材



団体ツアー客の到着



マスコットによる集客



販売商品のPR